

立川市緑化推進協議会の議事の要旨（要点）

（基本情報）

会議名称	立川市緑化推進協議会 第3回
開催日時	令和元年6月14日（金曜日） 午後1時30分～午後2時30分
開催場所	立川市役所 104会議室
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 協議会委員交代について 3. 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 次期計画の方向性について 4. その他
配布資料	資料1 緑化推進協議会 委員名簿 資料2 次期計画の方向性について 資料3 公園管理運営事業の歳出額の変化 資料4 本市の生物多様性に関する取組について 資料5 今後のスケジュール（案） 立川市緑化推進協議会 第3回（令和元年6月14日）意見シート
出席者	[委員] 会長 村上暁信、森田寛臣、福澤マリ子、須崎幹夫、三嶋久恵、鈴木功、渡邊貴美、甲野毅、幸山春菜、椎名豊勝（敬称略） [オブザーバー] 皆川望夢 [事務局] 平出賢一（基盤整備担当部長）、佐藤敦（公園緑地課課長）、西澤功典（緑化推進係係長）、瀧川巖（緑化推進係主任）、渡邊裕樹（緑化推進係主事） [コンサルタント] 中尾理恵子、元永愛菜
公開及び非公開	公開
傍聴者数	なし
会議結果	<ol style="list-style-type: none"> 3. 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 次期計画の方向性について <ul style="list-style-type: none"> ・「立川市公園施設長寿命化計画」に記述された根川緑道の桜並木の内容を含める。 ・資料2「課題のまとめ」の「緑をこれ以上減らさない」という表記を見直す。 ・方針について、市内の良好な緑に対して市民の理解を促し、緑によって生活の満足度が向上することが伝わるような表記に見直す。 例）矢川緑地の周知 等 ・資料2の「方針3 緑の人のつながりをはぐくみ活かす」は、全体に係る事項のため、具体的取組を議論する際に改めて調整する。 ・今後、良好な緑が地域の暮らしに誇りをもたらすという点について議論を進め、計画に盛り込んでいけるよう検討する。
担当	まちづくり部公園緑地課緑化推進係 電話 042-528-4363

平成 31 年度 第 3 回 立川市緑化推進協議会 会議録

開催日時 令和元年 6 月 14 日（金曜日） 午後 1 時 30 分～午後 2 時 30 分

開催場所 立川市役所 104 会議室

出席者 [委員]

会長 村上暁信、森田寛臣、福澤マリ子、須崎幹夫、三嶋久恵、鈴木功、
渡邊貴美、甲野毅、幸山春菜、椎名豊勝 (敬称略)

[オブザーバー]

皆川望夢

[事務局]

平出（基盤整備担当部長）、佐藤敦（公園緑地課課長）、
西澤功典（緑化推進係係長）、瀧川巖（緑化推進係主任）、
渡邊裕樹（緑化推進係主事）

[コンサルタント]

中尾理恵子、元永愛菜

1. 開会及び委員出欠確認

2. 協議会委員交代について

事務局より交代した委員、オブザーバー、事務局の基盤整備担当部長の紹介を行った。

3. 議題

(1) 次期計画の方向性について

コンサルタントより、資料 2 の説明を行った。

(会長) 今後の協議会を通じて、計画の方針を固めていく。今回はその入り口部分にあたる。議論を深めていくにあたって、皆さんと緑に係る財政状況について共有するため資料を用意していただいた。事務局より説明をお願いしたい。

事務局より、資料 3 の説明を行った。

(会長) 少し補足すると、緑の基本計画策定において、課題を洗い出し、それを受けて大きな方向性と取組を作成し、最後に計画としてまとめる。これからは、計画決定を見据えた議論に変えていく必要がある。

そのために、たくさんある取り組みたいことのうち、限られた財源、人的資源をどこに投入、配分、集中するかということ念頭にお願いしたい。そのうえで、取組の優先順位、計画の位置付け等の議論を進めていきたい。

そのきっかけとして資料 3 を説明いただいた。予算全体が縮小していく中で、必要な公園の管理・運営に係る部分は増えるため、新しい投資部分の比率は下がっていかざるを得ない。新しい投資部分を減らさない、あるいは増やすには管理・運営の部分をより効率化しなければならない。身近な

緑を、市民と一緒につくってもらうことで、管理・運営の一部が削減されていくかもしれない。いずれにせよ、どういう優先順位を持つべきなのか皆さんから意見をいただきたい。

(A 委員) 資料 2 の p. 2、残堀川について位置づけについて伺いたい。現在の残堀川はモノレールの通る立日橋近くで多摩川と合流している。甲州街道下には、今でも根川と名前のついた所があり、大正 10 年頃に植えた立川市で最も有名な桜並木がある。また、資料で示されている残堀川とは別の場所に根川緑地がある。これらの点が資料から外れている。その辺りも資料に盛り込んではどうかと思うが、いかがか。

(事務局) 残堀川の下流の、田園風景の桜並木のことだと思われる。根川の桜並木は「立川市公園施設長寿命化計画」の対象になっている。A 委員のご意見も踏まえ、長寿命化計画の記載内容を緑の基本計画の中に盛り込んでもいいかと思われる。

(A 委員) 検討していただきたい。

(会長) 以前にも同様の意見があったように思う。現状で欠けている視点と思うので追記していただきたい。このように、以前提示した意見で反映されていないものがあればご提示いただきたい。

(B 委員) 同じ資料 2 の p. 2 に矢川緑地について記載がある。A 委員と同じ趣旨の意見だが、矢川緑地は立地の関係から、国立市が管理していると認識されている。実際には立川市が管理していて、大事な地域だと知ってもらいたい。矢川緑地には独特の生態があるので、その点を周知するとよい。

(会長) 市民の方々に、どうやって立川市にあるよい緑を理解してもらうかだと思う。緑があることで生活の満足度につながるというような方針の書き方をしたほうがよい。その他の部分にも関わるので、後ほど事務局と調整をしたい。

(C 委員) 計画の示し方を伺いたい。方針として一番出てくるキーワードは、資料 2 に示されている「緑と人がつながり、いきるまち 立川」になるのか、それとも、方針 1～3 になるのか。計画における文言で重点をおくポイントを教えていただきたい。

2 点目に、保護樹林に関することは計画のどこに位置付けられているのか。

(会長) 必ずしもスローガンだけが注目されるわけではないが、計画が冊子にまとまったときは、スローガンや、計画の方針が目をはく。他の計画に緑の基本計画が反映される際に、特定のことが特化されないように留意する必要がある。

後半の保護樹林地の位置づけについては、現状の資料にあるものだけが計画に反映されるわけではない。他のキーワードにしても、重層的に関わっているという実態を表すような形で取りまとめる。

(C 委員) 言葉のレベル感もあるので、無理に入れる必要はないが、計画に位置づけされていたほうが活動の参加者にとっては拠り所になると思う。

- (事務局) 保護樹林地については、p. 2 の取組の方針と、p. 4 の右上の取組の例に記載している。計画のメニューには取り上げており、計画にどう反映するかは今後議論していく。
- (D 委員) 同様の意見だが、資料 2 の「課題のまとめ」に「緑をこれ以上減らさない」とある。この表記だと数的根拠を示す必要があるため、表記見直したほうがよいのではないか。それよりも「減っていく緑」というような書き方がよいと思う。生産緑地の解除といったこともあるため、緑は確実に減ってってしまう。パブリックコメントで外に示すことも考慮して、課題のまとめ方の表記を見直したほうがよい。
- (会長) 現実に達成できるかも含めて、ご指摘のとおりだと思う。少し強い文言になっている。数値の議論は後ほど出てくるため、その際に調整させていただきたい。
- (E 委員) 方針 1、2、3 に優先順位はあるか。
財政の縮小化に対応するために市民参加を促していく必要がある。あらゆるところで方針 3 「緑と人のつながりをはぐくみいかす」は関わってくるため、大変大きな課題である。しかし、目玉となるような具体的な取組がでてきていない。関心度は下がっていても、ちょっとした工夫で参加が戻ることがある。
正直なところ、市民参加による緑の復元は相当難しいことだと思っている。例えば、立川公園に新しく田んぼができ、今年から本格的に活動への公募を始めている。ここをモデルとし、田んぼから、ビオトープ、ガニガラ公園の緑地へとだんだん市民参加を広げると立川公園が 1 つのモデルケースになるのではないかと思っている。
このように、市民参加を推進するアドバルーン的な取組を計画の中に設ける等、市民参加の推進に対する強い意志がある取組があった方が、言葉だけが一人歩きするのではなく、活動として立川らしさにつながるのではないか。
- (会長) ご指摘のように、方針 3 は全体に関わることなので、もう少し時間をかけて議論を進めたほうがよい。具体的な取組の議論の時に、ご指摘の点を検討したい。
最後に 1 点、一委員として意見を言わせていただく。資料 2 の p. 1 課題の部分について、守りに入っているような印象を受ける。もう少しポジティブなものがあるとよい。ポジティブな考えの有無は計画の実行性という点からも重要である。地域の方が、緑があることで地域に誇りをもって暮らしていけるかどうか計画に入れば、先程の保護樹林の活用や、市民に緑に対する理解を促し生活になじませるといった話に展開していくと思われる。
プラスの部分は、立川市民の方々が立川市で暮らすことで得られる幸せとして何を求めたいのかという部分になってくる。委員の皆様には、この点について意見をだしていただき、議論が深まればと思う。時間の都合上、

議論はここまでとさせていただく。出せなかった意見については、配布の意見シートに記載してもらいたい。

4. その他

事務局より、資料4、資料5及び意見シートについて説明を行った。

(会長) 事務局から説明があったように第4回の開催については後ほど事務局から連絡がある。

以上で協議会を終了する。ご協力に対し御礼申し上げます。

以上